

審議会意見と対応状況

p	意見の概要	対応状況
第1章 計画の基本事項		
2	SDGs未来都市への選定や、気候非常事態宣言の表明など、市のSDGs、環境のトピック的な動きを盛り込んだ方がよい。	(2)これまでの経緯と背景 気候非常事態宣言の表明、SDGs未来都市への選定など、持続可能なまちづくりの実現を進めていることを記載しました。
2	環境・社会・経済の関係を説明する図は、国の環境白書から引用した図ではなく、ウエディングケーキモデルがわかりやすい。	<SDGsと環境・社会・経済の統合的向上> ウエディングケーキモデルを引用し、SDGsの理念と環境・社会・経済の関係を説明しました。
第2章 明石市の概況と取り巻く環境の状況		
9 ～ 12	○全体的に見て、国際的な視点が少し足りない。例えば、海洋プラスチックの問題は、まさに明石で取り組むべき重要な問題であり、2章でこうした点が触れていると、内容が異なってくる。 ○全体として国際的な視点がもう少し入ってもよい(例えば、海洋プラ問題、ゼロカーボン、サーキュラーエコノミーなど)。そうした視点が入ると、結果として明石の計画はこうなっているということがわかりやすいのではないか。	(2)市を取り巻く環境の動向 環境分野別に主な国際的な動き、国の動きを記載しました。
13 ～ 18	明石の環境の課題をまとめた方がよい。	(3)市の環境の現状と課題 課題と今後の方向性を分野別に記載しました。
14	【低炭素社会の実現】 2050年ゼロを目指すため、国は2030年46%削減という目標を出したが、市は2030年度の目標の見直しをどうするのか。	<課題と今後の方向性> 2030年の新たな削減目標の見直しが必要であると記述しました。目標の見直しについては、次年度地球温暖化対策実行計画において検討したいと考えております。
14	【低炭素社会の実現】 気候変動による災害リスクについては、海に面している明石としても無関係ではなく、将来に向けて考える必要がある。	<課題と今後の方向性> 本市においても気候変動の影響に備える適応策を講じていく必要があることを記載しました。
16 17	【自然共生社会の実現】 ○市の現状について、海や川の現状が書かれていないので、触れた方がよいのではないか。 ○海のごことは盛り込むべきで、最近の海岸の調査で、明石の沿岸には非常に多様な生物が生息していることがわかっているので、そのような結果も活用してはどうか。	<表 2-1 市域の生物多様性の現状> 海岸や沿岸、河川における生物多様性の現状を記載しました。また、自然環境調査の結果として海岸で重要種が生息していることを記載しました。

17	【自然共生社会の実現】 工場の緑地率を緩和する議論があるが、明石全体では緑をへらさないようにするなど、そのような内容はどのように盛り込むのか。	<課題と今後の方向性> 緑の基本計画に基づき、引き続き緑地の保全や緑化の推進などの取り組みを進めることを記載しました。
17	【自然共生社会の実現】 自然環境が豊かであるということは、緑被率というような緑の量の話と同時に、緑の質も重要だといわれているので、そのような観点も記載した方がよいのではないか。	<課題と今後の方向性> 緑地の保全や緑化の推進などの取り組みにくわえ、生態系の保全などの「緑の質の向上」に取り組む観点を記載しました。
17	【自然共生社会の実現】 海については、豊かな海という観点も必要ではないか。豊かな海とは何かについて知らない方も多く、説明した方がよい。	<豊かな海とは> 明石を含む瀬戸内海では、水質改善が進む一方で、栄養が不足し、生き物が育ちにくくなり、豊かな海が失われていることを記載しました。
18	【安全安心社会の実現】 自動車騒音の環境基準達成率が100%に未達である理由とその状況はどうか。	<市内環境の状況> 100%に未達であるものの、全国平均は上回る達成率である状況を記載しました。
第3章 めざす環境像と基本理念		
20 ～ 23	めざす環境像のところで、理想の環境と10年先を目標とする環境とを混同している感じがする。 環境基本計画の目標は10年先なので、長期スパンと短期スパンの話が一緒に説明されて理解しにくい。計画の基本理念と計画のタイムスパンの差を意識して説明すると分かりやすくなるのではないか。	めざす環境像と計画の基本理念は、長期スパンの話として、それを実現するための基本方針および市民が考える環境未来像は計画の目標年度である2030年度に向けた短期スパンの話として、章の項目順序を整理しました。
20	現行計画のめざす環境像に出てくる文化の概念について。伝統的な知識なども大切なので、自然環境を守ることと、今までの文化、人としての関わりを踏まえるといことは、関係が深い。そのような見方を反映できるのではないか。	(1)めざす環境像 「自然とともに生きた先人の知恵を受け継ぎつつ」という一文を追加し、持続可能なまちづくりを進めるうえで、伝統的な知識の重要性を反映しました。
22	○4つの分野にわけているが、相互関係があるので、例えば、全体のまとめ部分的な部分で、この4つがリンクして、いい世の中になりますというような文言かコメントがあれば分かり易いのではないか。 ○基本理念の4つの方針は全部つながっている部分があると思うので、横断的に取り組みを進めていかなければいけないという点があるとよいのではないか。	(3)基本方針 4つの分野は互いに関連しあっており、横断的に取り組むことで、複数の課題解決につなげていくことが必要と記載しました。
22	施策の体系で、脱炭素、自然共生、循環型の順番になっている。脱炭素、循環型、自然共生の順が一般的なように思うが、順番について検討願う。	(3)基本方針 国等と整合を図り、脱炭素、循環型、自然共生の順としました。

第4章 基本施策	
<p>26 【施策の体系】</p> <p>○自然共生社会の基本施策に「学び、守り、育てる仕組みづくり」とあるが、これは環境学習のことで、これからはいろんなテーマで横断的にやっていくところと思うので、消してもらったらよい。</p> <p>○横断的という意味では、循環型社会の実現の2点目の「パートナーシップによる取り組みの強化」もそうではないか。</p>	<p><基本施策の体系></p> <p>ご指摘の項目(横断的に取り組むべき内容)については、基本施策から外しました。</p>
<p>26 【施策体系】</p> <p>○海洋プラスチックごみ対策を横断に位置付けることにより、その他の対策は貫いていないのかという誤解が生じかねない。</p> <p>○海洋プラスチックごみが横断施策に位置付けられているのは違和感がある。循環型社会のところでごみの問題が出てくるので、そちらの方がよいのではないかと思う。</p> <p>○海洋プラスチックごみ対策の内容を見ると、横断的というよりは、循環型社会の実現に入るのでないかと思う。</p>	<p>海洋プラスチックごみ対策については、横断的施策の位置づけから外し、主たる取り組みであるプラスチックごみ対策について、循環型社会の実現の施策に盛り込むこととしました。</p>
<p>27 【横断的施策の考え方について】</p> <p>～</p> <p>○横断的というのは、まさに SDGs であり、例えば、ごみを減らせば、脱炭素にも影響するし、自然共生、自然の豊かさを守ることもなるなど、1つの施策がいろんなことに影響があるということを説明した方がいいのではないか。</p> <p>○それぞれの施策がさまざまところに寄与するという点については、SDGs のゴールをアイコンで示しているので、そのつながりがわかるように説明をすることがよいのではないか。</p>	<p><環境・社会・経済の統合的向上></p> <p>○1つの施策が、他の分野の環境面、社会、経済面に影響を及ぼすという点を、各分野の「環境・社会・経済の統合的向上」の項目で説明し、関連するSDGs のゴールを併記しました。</p>
<p>27 【脱炭素社会の実現】</p> <p>28</p> <p>○省エネ、再エネの利用、適応など、今までのマイナスおよびリスクをへらしましょうという視点でとどまっている。脱炭素の取り組みにより、経済をプラスにするという点も打ち出せないか。</p>	<p><基本施策1></p> <p>エネルギーの地産地消の仕組みづくりを通じて、地域内の経済の好循環につなげる旨を記載しました。また、環境社会経済の統合的向上において、社会経済面の効果として、地元雇用の創出など、経済の好循環を生み出すことを記載しました。</p>

<p><基本施策2> ○今あるところで省エネをしようというところから一歩進んで、システムを変えるというところを打ち出せないか。例えば、街の姿が自動車に合わないようになるとか、建物は全て ZEH,ZEB にしていくとか、今までのシステムとは違うまちの在り方を進めていくことが見える表現がほしい。</p> <p>○行政の率先取り組みとして、新庁舎に関する取り組みを盛り込めば市民も一緒に行動を変えていこうという気持ちになるのではないか。</p> <p><基本施策3> ○基本施策3で、気候変動の影響の検討となっているが、推進にした方がよい。</p> <p><環境・社会・経済の統合的向上> ○施策と SDGs 達成の関係の中で、再エネの利用推進は、温室効果ガス削減にくわえ、レジリエンスの強化にもつながるので、文言を入れた方がよい。</p>	<p><基本施策2> ○ZEH や ZEB の普及、交通システムの構築の取り組みにより、脱炭素に貢献するスマートなまちづくりを進めることを記載しました。</p> <p><コラム ZEH や ZEB とは？> ○計画中の市の新庁舎で ZEB Ready を目指していることを記載しました。</p> <p><基本施策3> ○気候変動の適応の推進としました。</p> <p><環境・社会・経済の統合的向上> ○社会・経済面に、災害時の電力供給が確保されるなど、レジリエンスな街づくりが進むと記載しました。</p>
<p>29 【循環型社会の実現】 30 ○海洋プラスチックについて重視するという点を強調してもらいたい。</p> <p><基本施策2> ○ごみの安全安心な適正処理に入るかと思うが、平時に加えて災害廃棄物についても、市の計画があるので、盛り込んだ方がよいのではないか。</p> <p><環境・社会・経済の統合的向上> ○ごみの収集・輸送による温室効果ガス排出の影響の観点を記載した方がよいのではないか。</p> <p>○脱炭素と同様、資源循環の取り組みにより、経済をプラスにするという点を打ち出せないか。(例えば、プラスチックにしても、なるべくプラスチックを使わないようにしようというところではおさまらなくなっており、素材を変えとか、有料化にするなどの観点になってきている)</p>	<p><基本施策1> ○施策例として、プラスチックごみの減量に取組むこと、また、海洋プラスチックごみ対策は、幅広い取り組みが必要となることから、様々な主体や庁内部局と連携して取り組みを進める旨をコラムとして記載しました。</p> <p><基本施策2> ○基本施策2のごみの安全・安心な適正処理において、災害時の廃棄物適正処理の推進について記載しました。</p> <p><環境・社会・経済の統合的向上> ○環境面において、ごみの減量により収集や焼却に伴う温室効果ガス排出の削減につながると記載しました。</p> <p>○社会・経済面において、プラスチックなどの資源循環が促進されることにより、新たな産業やイノベーションの創出につながると記載しました。</p>

32	<p>【自然共生社会の実現】</p> <p>来年、明石で海の大きな事業がある。明石の海の宝物を発表するなど、うまく利用して、何かの政策のきっかけにしてもらえればと思う。</p>	<p><基本施策3></p> <p>豊かな海づくりの推進の施策例として、豊かな海づくり大会を契機とした啓発と記載をしました。</p>
34 35	<p>【分野横断施策】</p> <p>○環境教育という言葉は、教育という言葉は非常に大層な感じがするので、学習に統一した方がよいのではないか。</p> <p>○よりたくさんの市民が関心をもってもらえるように、楽しくエコ活動できるような資料を行政主導で準備し、啓蒙していくことが必要ではないか。</p> <p>○互いに環境に関わる取り組みの共有、進捗確認のため、市民グループ、行政、企業で定期的な意見交換をするべきではないか。</p> <p>○SDGs小中一貫校について、地産地消のモデルとなり、教育の場として活用できるような取り組みを反映できないか。</p>	<p>○環境学習に統一しました。</p> <p>○環境情報の効果的な発信の施策例として、ナッジ等の手法を活用するなど、市民の行動変容を促す情報発信を行う旨記載しました。</p> <p>○環境学習・環境活動の推進の施策例として、環境活動に取り組む市民・団体・事業者・行政の情報共有、交流の機会の創出について記載しました。</p> <p>○施策例として、SDGsの考え方を取り入れた幅広い視野での環境学習を行う旨記載しました。</p>
第5章 各主体の役割		
38	<p>各主体の役割で団体が無い。団体は、地域に根付いたきめ細かな取り組みをしていたり、行政と市民とのつなぎ役をやっていたりするので、団体の役割も追加した方がよいのではないか。</p>	<p>市民団体および環境行動指針を記載しました。</p>
38	<p>【市民の環境行動指針】</p> <p>○生ごみをたい肥にして循環するという視点・取り組みも盛り込むとよいのではないか。</p> <p>○石鹼や洗剤をできるだけ環境に配慮したものを使おう。化学物質やマイクロカプセルのない洗剤を使うことは、人間にもよく、地球にもよいことが伝われば、香害を入りに環境活動に協力する市民が増えるのではないか。</p> <p>○地産地消、オーガニックのものを食べよう。人間も健康になり、土や生き物たち、自然にとってもよいということが理解されれば、環境活動に協力してくれる市民が増えるのではないか。</p> <p>○議会の傍聴にいこう、選挙にいこう、選挙に出よう。市民がどのように行政と関わっていけるのか、意見を伝えられるのかを示したらよいのではないか。</p>	<p><表5-1 市民・市民団体の環境行動例></p> <p>ワークショップの意見や基本計画の施策内容を踏まえ、反映をしました。</p> <p>(例)</p> <ul style="list-style-type: none"> →生ごみをコンポスト堆肥化するなど、生ごみの減量に努める →環境に配慮した製品を選ぶ →旬の食材、産地の近い食材を選ぶ →市政情報などまちづくりについて関心を持つ

39	<p>【事業者の環境行動指針】</p> <p>環境に配慮しなければ経済が成り立たないということ を明確に伝える必要がある。環境に配慮した企業 がこれから明石に入らなければ、明石の経済はま わらなくなる。環境に配慮した企業が活躍できる地 域という方向にもっていくべきでは。企業に対して も、抑止力となるような内容を盛り込んでほしい。</p>	<p>計画全体を通じて、環境に配慮することが、経済や 社会の持続可能性につながることを強調するとと もに、例えば、第3章の計画の基本理念の4つ目 および第5章の事業者の行動指針において、事業 者においても環境に良い取り組みを通じて、地域 の社会や経済の発展に貢献していく旨を記載しま した。</p>
全 体（その他）		
	<p>環境問題を解決することが「人間にもメリットがた くさんある」という書き方をしてほしい。市民の方 に自分ごととしてとらえてもらえることが必要。 (例えば、マイクロプラスチックについては、海や魚 を守るために加えて、それらを自分たちが食べるこ とでがんや不妊の問題になるという、巡り巡って人 間に影響があるということを盛り込んでほしい。解 決が、人間の健康と住みやすさにつながるというこ とが伝わると、自分事としてとらえてもらえる)</p>	<p>全体として、市民や事業者の皆様にも、環境に関心 を持って、取り組みを進めることにより、自分たち の暮らす地域の社会や経済に良い影響が及ぶとい う視点をもっていただけよう、環境課題の解決 を通じ、社会や経済に貢献するという点を強調し ました。</p>